

2025 年 6 月 27 日

各位

沖縄県労働金庫

「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」 地域で活躍する高校生・大学生 30 グループへ寄附決定しました！

沖縄県労働金庫（理事長 東盛 政行）は、高校生・大学生に向けた地域活動・社会活動支援策とした「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」の寄附先グループが決定しました。

本プロジェクトは、沖縄・地域のために何かしたい高校生・大学生の活動を応援する寄附金となっています。「社会人」より活動資金を得ることが難しい「学生」へ資金支援を行うことで、学生自身が活動を通じて得られる知識や経験の広がり、沖縄の地域活動・社会活動のさらなる活性化を期待します。

なお、想定以上の応募があったことや、より多くの高校生・大学生の「あといっぱい」を支援するため寄附総額を当初予定 140 万円から 250 万円へ増額いたしました。

申込のあった 52 グループから、特別支援の生徒が安心して生活できる環境をつくるため信号機を製作したいというグループや親子向けに「自分の感情を表現してよい」というメッセージを込めたパペットミュージカルを開催を計画するグループなど、30 グループ（高校生 20 グループ、大学生 10 グループ）を選出いたしました。

今後も当金庫の理念にある「人々が喜びをもって共生できる社会の実現」のため、地域活動・社会活動のさらなる活性化に取り組んでまいります。

記

1. 「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」概要

(1) 対象者

沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等の地域活動・社会活動に取り組む高校生、大学生のグループ（2人以上）であること。

(2) 寄附金額

総額 140 万円⇒250 万円へ増額

1 グループ上限 10 万円

(3) 応募状況

2025 年 4 月 1 日～5 月 31 日に募集し、52 グループを応募受付

高校生：28 校 34 グループ 大学生：25 校 18 グループ

(4) 寄附先について

30 グループに寄附決定

高校生：22 校 20 グループ 大学生：17 校 10 グループ



2. 寄附先グループ一覧

No (順不同)	学校名	グループ名	寄附金額	寄附金の使い道	地域	管轄店
1	八重山農林高校	石垣島の伝統菓子 ユヌクムチ継承の研究	100,000円	忘れられそうな石垣の伝統菓子「ユヌクムチ」を後世に継承する活動を行いたい。寄附金は活動に必要な原材料、器具類の購入資金として使用したい。	石垣市	八重山支店
2	八重山商工高校	家庭クラブ同好会	60,000円	消滅の危機にある「しまむに(石垣の方言)」で紙芝居に挑戦し、民話を伝える活動を行い、「しまむに」の普及活動を行いたい。沖縄本島で行われる民話上映会への参加渡航費や紙芝居作成費用等に使用したい。	石垣市	八重山支店
3	名護市立 大宮中学校	笑顔収集社	100,000円	笑顔を集める活動として校外でイベントに招かれたり、イベントを主催した際にかかる活動費(移動費、物品代)にあてたい。笑顔寄付の循環を作り出す試みとして寄付先の子供食堂でもSmiral!の常設を行うための機器購入代金にあてたい。	名護市	名護支店
4	八重山農林高校	八重山農林高校 家庭クラブ	100,000円	島野菜や規格外食材を使った栄養豊富な食事を、地域の子供食堂に提供し、食材・調味料、容器、交通費、レシピの開発、試作、衛生管理(アルコール、ビニール手袋)、作成費(ポスター、パンフレット、アンケート)の費用に使用したい。	石垣市	八重山支店
5	八重山農林高校	モリンガがっつなぐ食と未来	50,000円	海に囲まれた石垣島は台風時などは物流が停止し食料品が不足することがあるため、地域に自生する「モリンガ」を活用し栄養価の高い防災食を開発したい。寄附金は、防災食の試作・改良、地域との連携と普及活動、食育プログラムの実施などに使用したい。	石垣市	八重山支店
6	八重山特別支援学校	グリーン班	96,000円	「地域をきれいに、誰もが気持ちよく過ごせる場所にしたい。」という思いから、地域清掃活動を実施したい。寄附金の使い道は電動草刈り機を購入し、地域の清掃活動を行いたい。	石垣市	八重山支店
7	興南高校	興南アクト部	100,000円	沖縄の魅力を自分自身の言葉で語り、同世代へ伝える取り組みを行っている。ガイドに必要な「伝える力」を伸ばすため外部講師の方をお招きし、演劇の手法を用いて、ガイド活動に必要な「自己肯定感の向上・コミュニケーション力の発達・価値観の違いを受け入れる力」の育成を目指したワークショップを開催したい。	那覇市	おもろまち支店
8	那覇国際高校 球陽高校 開邦高校 那覇西高校	ぶんつーる	100,000円	「どこでも文通ができるネットワーク作り」達成のために、沖縄県内、日本国内、そして世界でワークショップを通して文通の体験を届けたい。離島や北部などの遠方でのワークショップ開催・地域教育/体験格差問題の現状調査実施への交通費。文通ワークショップで使用する手紙や切手代などに当てたい。	那覇市	おもろまち支店
9	南部工業高校	チーム南工 「地域に恩返しプロジェクト」	100,000円	高校3年間で学んだ専門的な知識や技術を使って「地域に恩返しする」プロジェクトを各班で実施したい。バス停のベンチ老朽化のため新しいベンチの制作を行うための費用やプログラミングによって動作する体験学習を行うための活動費などに使用したい。	八重瀬町	与那原支店
10	美栄工科高校	信号機を製作し特別支援学校に贈ろう ～美栄特支小学部と交通安全教育の交流をととして～	100,000円	特別支援学校の生徒たちが安心して生活できる環境をつくるため、信号機2台分を製作するための材料等を買いたい。	沖縄市	コザ・具志川支店
11	沖縄高等特別支援学校	OKT舎友会サークル	100,000円	寄宿舎で取り組み培ったスキル等を地域の方に広げ共同することで社会貢献を行いたい。寄附金は、手工芸品の材料費やダンス用の衣装などに使用したい。	うるま市	コザ・具志川支店
12	辺土名高校	辺土名高校サイエンス部	100,000円	校内にある生き物博物館ではやんばるの川の生き物、昆虫の標などを展示しているが、施設・設備が老朽化しているため、古くて使えなくなったものを交換して充実させたい。また、多くの小動物も飼育しているため、餌代もかなりかかっているため、餌代としても使いたい。	大宜味村	名護支店
13	沖縄尚学高校 那覇国際高校 開邦高校	Toi Toi	35,000円	那覇市内の小中学生を対象に「勉強をゲーム感覚で楽しく取り組める学習支援プロジェクト」を実施したい。寄附金は、ポスター・ゲームの作成、子どもたちへのご褒美に使用したい。	那覇市	本店営業部
14	名護商工高校	しょーこー'ズ	100,000円	小学生向けの夏休み体験学習で「プランターカーバウードボックスミニ」を作り子どもたちが自分の手で木を切り、組み立てて世界に一つだけの作品を完成させることで、ものづくりの楽しさを感じてもらいたい。そのために必要な木材や加工に使う道具等の購入費として寄附金を活用したい。	名護市	名護支店
15	南部商業高校	カジャ！ウリ ナンパサンオブゴドゥンハッキョ 가자！우리 남부상업고등학교！ (行こう！私たち南部商業高校！)	90,000円	韓国語や中国語のもっと学びたいが現在の教育課程を変更することはできないため、夏休みを利用して講師の先生を招き語学の力を伸ばしたい。そのため、講師への受講料を支払うため寄付金を活用したい。	八重瀬町	与那原支店
16	北部農林高校	ふりかけーズ	30,000円	シークワサー果皮は年間2000トン廃棄されいることから未利用資源を副産品として活用できないか研究したい。	名護市	名護支店
17	北部農林高校	チーム昆虫食	50,000円	見た目の悪さや味に抵抗感のある人が多い、昆虫食を広めるために美味しく食べる方法を試作し広めたい。	名護市	名護支店
18	北部農林高校	チームおから	30,000円	おからの5～9%が産業廃棄物として捨てられていることから、美味しく食べられる蒸しパンのレシピを開発したい。	名護市	名護支店
19	那覇国際高校	Up Clothes	100,000円	衣類廃棄の問題を知ってもらうために、「布が語る沖縄ものがたりアート展」を開催し、子どもたちや若者に「伝える手段」と「見てもらえる機会」を届ける。寄附金は、アート展で使用する材料費等に使用したい。	那覇市	おもろまち支店
20	宮古特別支援学校	宮特地域貢献隊	41,000円	地域に何か貢献したいという思いから、清掃活動を行うため、清掃道具の購入や、清掃に関わる技能検定費用として寄附金を使いたい。	宮古島市	宮古支店
21	名桜大学	無料塾士EAM	100,000円	名護市中山区版キザニアを運営し、子どもたちの「やってみよう！」「叶える夢の一日」を開催したい。寄附金は、イベント企画準備、人件費等に使用したい。	名護市	名護支店

No (順不同)	学校名	グループ名	寄附金額	寄附金の使い道	地域	管轄店
22	青山学院大学 九州大学 京都産業大学 慶應義塾大学 佐賀大学 帝京大学大学院 東京大学大学院 東京都立大学 立教大学 山口東京理科大学	学生団体OPE	100,000円	沖縄県の高校生や保護者向けに進学に関する情報提供や相談 機会を設け、進学を考えるきっかけとなるイベントの費用として寄 附金を使いたい。	全国	経営統括部
23	沖縄県立看護大学 琉球大学 名桜大学	沖縄県島嶼ケアコミュニティ	91,000円	医療職者が様々な状況に対応できる実践そのもので医療処置 や臨床判断を学生レベルで行える大会を開催したい。寄附金は、 会場費や機材のレンタル費用として使いたい。	那覇市	本店営業部
24	沖縄県立看護大学	ふしやぬふ・うぐなへり café	100,000円	高校進学のため沖縄本島に島立ちした高校生(多良間村)の生活 面、人間関係、勉強面をサポートするための交流会、勉強会を開 催するための費用としたい。	那覇市	本店営業部
25	琉球大学	i plus+	100,000円	大学生や地域の方々から、使用済み学習参考書を回収し、必要 とする子どもたちへ無料で配布する活動を行いたい。寄附金は、 配布時の輸送費や広報費として使用したい。	西原町	浦添・普天間支店
26	慶応義塾大学 名古屋大学 向陽高校 沖縄工業高等専門学校 那覇商業高校 永清高校 那覇国際高校 球陽高校 開邦高校 首里高校	CHURACTION	50,000円	地域課題や社会に対する問題意識を持つ高校生と地域企業の架 け橋となり、「高校生の探究活動サポート」を行うためのイベントを 開催したい。	全国	経営統括部
27	沖縄国際大学	手話サークルちゅらとも	100,000円	国内外で活躍するろう者を講師として招き、ワークショップを開催 したい。聴覚障害者に対しての包摂と理解を促すための場を設 け、互いに認め合える共生社会を育みたい。	宜野湾市	浦添・普天間支店
28	琉球大学	琉球大学Robotサークル	100,000円	沖縄県内の小中高生を対象としたものづくり体験教室(ロケットや ロボットの製作、プログラミング体験)の運営と教材開発費に使用 したい。	西原町	浦添・普天間支店
29	沖縄県立芸術大学	沖芸イベント企画サークル accel.	100,000円	地域の親子向けに「自分の感情を素直に表現してよい」というメッ セージを伝えるパペット・ミュージカルを開催したい。	那覇市	おもろまち支店
30	名桜大学	性教育支援団体 あいあむ	77,000円	LGBTQについての理解を深め、すべての人が安心して過ごせる 学校環境づくりを目指し、校内のイベントで周知活動やイベントを 開催し、学生が参加しやすい取り組みを実施したい。	名護市	名護支店
寄附総額			2,500,000円			

3. 贈呈式の様子

<高校生グループ>

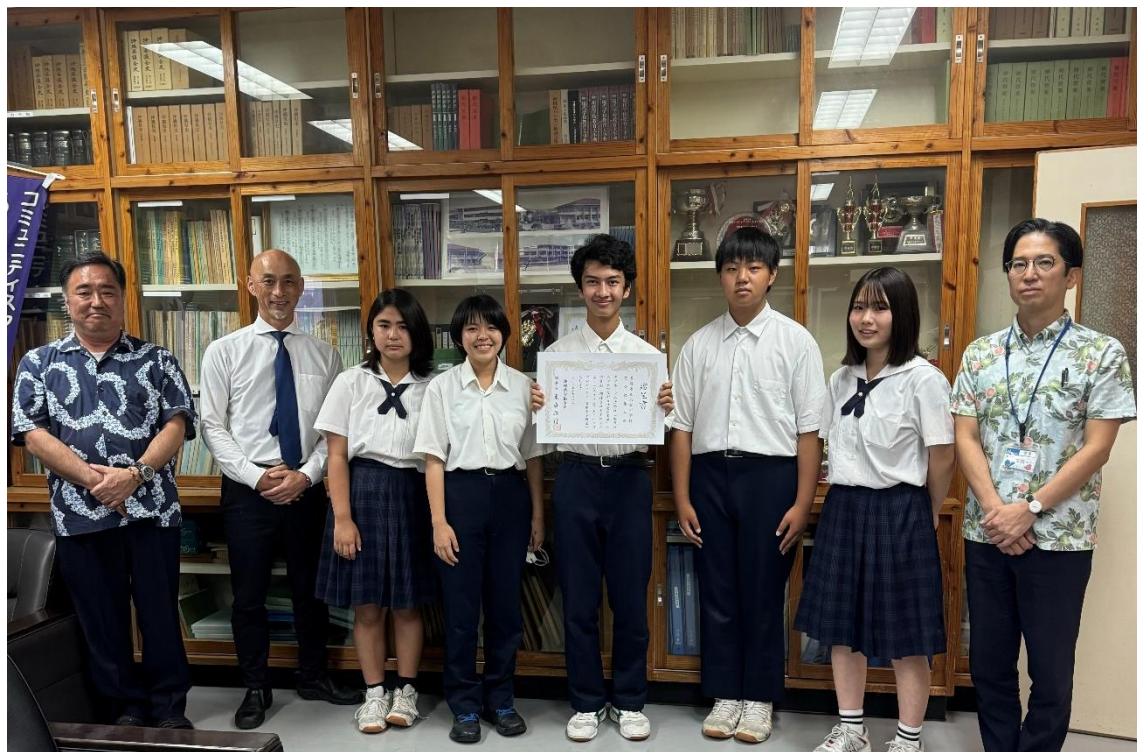
○八重山農林高校「石垣島の伝統菓子 ユヌクムチ継承の研究」



○八重山商工高校「家庭クラブ同好会」



○大宮中学校「笑顔収集社」



○八重山農林高校「八重山農林高校 家庭クラブ」



○八重山農林高校「モリングがつなぐ食と未来」



○八重山特別支援学校「クリーン班」



○興南高校「興南アクト部」



○那覇国際高校、球陽高校、開邦高校、那覇西高校「ぶんつーる」



○南部工業高校「チーム南工『地域に恩返しプロジェクト隊』」



○美来工科高校

「信号機を製作し特別支援学校に贈ろう～美咲特支小学部と交通安全教育の交流をととして～」



○沖縄高等特別支援学校「OKT 舎友会サークル」



○辺土名高校「辺土名高校サイエンス部」



○沖縄尚学高校、那覇国際高校、開邦高校「Toi Toi」



○名護商工高校「しょーこー'ズ」



○南部商業高校「가자! 우리 남부상업고등학교! (行こう! 私たち南部商業高校!)」



○北部農林高校「ふりかけーズ」



○北部農林高校「チーム昆虫食」



○北部農林高校「チームおから」



○那覇国際高校「Up Clothes」



○宮古特別支援学校「宮特地域貢献隊」



<大学生グループ>

○名桜大学「無料塾土 EAM」



○青山学院大学、九州大学、京都産業大学、慶応義塾大学、佐賀大学、帝京大学大学院
東京大学大学院、東京都立大学、立教大学、山口東京理科大学
「学生団体O P E」



○沖縄県立看護大学、琉球大学、名桜大学「沖縄県島嶼ケアコミュニティ」



○沖縄県立看護大学「ふしゃぬふ うぐな〜り café」



○琉球大学「i plus+ (アイ・プラス)」



○沖縄国際大学「手話サークルちゅらとも」



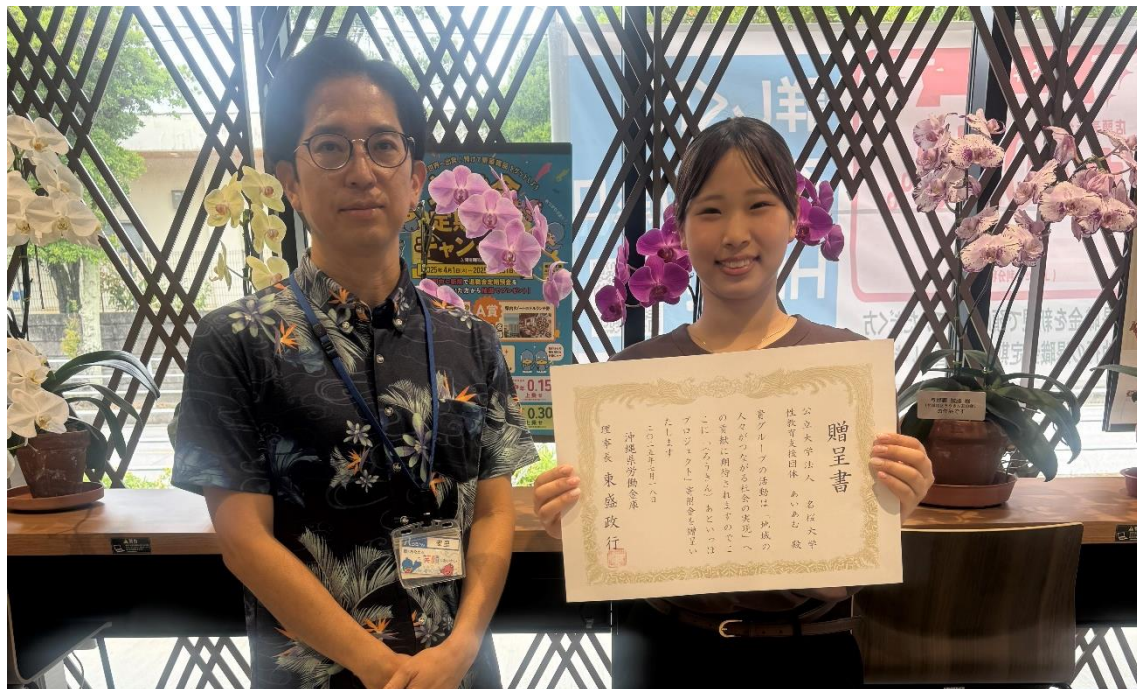
○琉球大学「琉球大学 Robot サークル」



○沖縄県立芸術大学「沖芸イベント企画サークル accel.」



○名桜大学「性教育支援団体 あいあむ」



以上

本件に関するお問合せ先
沖縄県労働金庫 経営統括部
担当：玉城 このみ
TEL:098-861-1196